



学部長ごあいさつ

保健医療学部長 大日向 輝美

青葉の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本学の教育研究活動にご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

保健医療学部通信第10号をお届けいたします。年に2回、成績送付に合わせて、教職員が手作りで発行する冊子ですが、学部の動きや学生生活の様子を垣間見ていただけますと幸いに存じます。

新年度となり早2ヶ月が過ぎました。新入生は大学生活そのものに、上級生は新しいステージに馴染んできた今日この頃、6月の大学祭に向けた動きが活発化しています。学生たちの若いエネルギーと新鮮な感覚、柔軟な発想は、今年の大学祭をどのように作り上げていくのでしょうか。大学祭は「お祭り」ですが、単なるお祭り騒ぎに終わるのではなく、医大生独自の趣向をこらした取り組みにしてほしいと思います。

さて、旧体育館跡に建設中であった教育研究棟が完成し、4月から供用開始となりました。地下1階、地上10階で5階までが吹抜構造の開放感のある明るい建物です。道産木材がふんだんに使われ、モダンな中にも大学らしい落ち着いた雰囲気を出しています。現在進行中の保健医療学部旧棟の改修工事は、授業と並行しての施工のため長期間を要していますが、大方のところは年内に終了する予定です。6月からは最終段階となる新棟建設が始まります。全てが完成した暁には講義室・実習室・演習室のみならず、学生スペース等も拡充・整備され、教育学習環境は格段に改善いたします。学生の皆さんには新キャンパスを十二分に活用し、これまで以上に充実した学生生活を送ってほしいと願います。

保護者の皆さまにおかれましては、今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



【平成30年度 学事予定】（1～4学年）

4月 6日	入学式
4月 9日 ～ 4月11日	「保健医療総論 1～4」
6月 7日 ～ 6月10日	大学祭
6月25日	大学記念日
7月23日 ～ 8月 3日	前期定期試験（4年生 看護）
7月31日 ～ 9月 2日	夏季休業（1・2・3年生）
8月 6日 ～ 8月19日	〃（4年生 看護）
8月 6日 ～ 9月17日	〃（4年生 理学）
7月30日 ～ 8月12日	〃（4年生 作業）
9月 3日 ～ 9月14日	前期定期試験（1・2・3年生）
9月25日	後期講義開始（1・2年生）
	〃（3年生 理学）
	〃（3年生 作業）
10月15日	
10月18日 ～ 10月20日	体育祭
12月 7日	文化芸術祭
12月24日 ～ 1月 6日	冬季休業
2月18日 ～ 3月 1日	後期定期試験（1・2年生）
1月28日 ～ 2月 1日	〃（3年生 理学）
2月18日 ～ 3月 1日	〃（3年生 作業）
3月15日	卒業式



入学式



保健医療総論

学科長ごあいさつ

看護学科長 城丸 瑞恵



平成30年3月16日(金)に卒業式が行われ、看護学科49名がみな明るく晴れやかな表情で卒業しました。今年度も看護師国家試験に全員が合格し、100%の合格率を連続させています。

保健師も全国平均を上回る合格率であり、本学の学生の頼もしさをあらためて実感するとともに、保護者の皆様のご支援に深く感謝しております。ありがとうございました。卒業生の多くは看護師として社会人になり、勤務先は札幌を中心として道内の出身地や東京など道外を選択した人もいました。また、保健師として勤務する人や助産学専攻科への進学者も数名おりました。各自が本学の卒業生としての誇りを胸に、それぞれの道に希望を抱き進んでおります。

4月6日(金)には50名の新入生を看護学科に迎えました。1人1人の表情は初々しくまた期待に満ちあふれていました。数日間にわたる新入生オリエンテーションにも積極的に参加し、看護学科内だけではなく理学療法学科・作業療法学科合同で取り組むグループワークを通して学科内外の交流もでき、これからの学習を行う上で良いスタートを切ることができたと思います。2年生は疾病に関する理解や看護の方法について学ぶ専門基礎科目が増え、後期には札幌医科大学附属病院で実習があります。3年生は多様な領域の看護方法について学ぶ専門科目が一層増え、本格的な実習が行われます。4年生は、引き続き専門科目を学習するとともに、「看護研究」「看護技術総合演習」「看護統合実習」などがあり、これらの科目を通して既習の知識と技術を統合して4年間の総まとめを行います。また、保健師選択コースの学生は公衆衛生看護に関する理解を深め実習も体験します。

これからも教職員一同、学生1人1人の個性や意欲を大事にしながら、豊かな人間性と高度な実践力の育成に向けて努力する所存です。保護者の皆様におかれましては、引き続きご支援よろしくお願ひいたします。

理学療法学科長 片寄 正樹



新入生20名と学科教員スタッフ全員が初めて対面する学科オリエンテーションは、本学科教員から今後4年間の学びに向けてのメッセージを教員一人一人から送る時間となります。新入生からも自己紹介をしてもらいますが、本学への志望動機、将来への夢を語る希望に満ちた言葉は教員にとっては毎年新鮮に心に響くものであり、これまで卒業した学生の入学時の言葉や姿、そして現在の活躍を想起させてくれます。

教員から新入生へのメッセージは、新入したこの時期に改めて考えて欲しいことが詰められた言葉のエッセンスであり、予定時間を超えて熱くスピーチする教員が少なくありません。多くの教員のメッセージに含まれるのが、「自立した学びの姿勢」ということです。

これからの4年間をかけてこの姿勢を身につけていただく、そのことの重要性を今から認識して欲しい。その言葉につけるのかもしれない。入学時に様々な希望を胸に入学した学生が、これからの4年間で「自己学習能力」と「人間性」のある人材となりうる教育環境を確保していきたいと思ひます。

保護者の皆様におかれましては、ご支援を賜りますこと何卒よろしくお願ひいたします。

作業療法学科長 仙石 泰仁



人工知能(AI)や医療工学に関する進歩は目覚ましく、様々な医療検査の解析や、近年ではガンや認知症を発見するAIに関する研究も進んでいます。障害を持った方の支援では脳波(脳が活動することで生じる電氣的な変化)を利用して、麻痺した手足を動かす、食事などの介助をする機器を操作するといった取り組みも実用化のレベルに達しようとしています。オックスフォード大学のオズボーン博士の研究では、このままコンピューター関連の技術革新が進むと、現在、人間が行っている仕事の半分はコンピューター技術によって自動化されると予測しています。その中で、作業療法は「コンピューターに代替されにくい仕事」の6位となっており、クリエイティブで、人間同士のコミュニケーションの中で行われる仕事として将来も残る可能性が高い職業とされています。このことを教育の側面から考えると、作業療法士を目指す学生は高度な知識とクリエイティブな発想や技術を身につける必要があるとも言えるかもしれません。学生諸君には単に試験に通る勉強だけを行うのではなく、自分から課題を見つけ、調べ、まとめ、説明するといった学修技能を身につけて、卒業を迎えるようになってもらいたいと思ひています。

新年度になり学生主催の新入生歓迎会も終わり、それぞれの学年の課題に学生諸君も取り組んでいるところです。学生が更に学業に打ち込めるように、教職員一同努力してまいりますのでよろしくお願ひいたします。

新年度になり学生主催の新入生歓迎会も終わり、それぞれの学年の課題に学生諸君も取り組んでいるところです。学生が更に学業に打ち込めるように、教職員一同努力してまいりますのでよろしくお願ひいたします。

保健医療学部 講義紹介

■ 在宅看護学概論（2学年）・在宅看護方法（3学年） 上田 泉 准教授 岡崎 まどか助教

在宅看護学領域が担当している科目は、在宅看護学概論と在宅看護方法です。講義、演習、実習を通して、在宅療養者とその家族の特性を理解し、在宅における看護の基礎的知識・技術・態度について学習します。また、地域における在宅ケアシステムを理解し、看護職ならびに関係者との協働をととした在宅における看護の役割や責任について学習します。

特に演習には力を注いでいます。初回訪問演習では、学生が初めて訪問看護師として療養者の自宅へ訪問するという場面を設定し、学生は、看護師役、療養者役、家族役を演じるロールプレイ演習を実施しています。看護師役を演じることで、初回訪問において信頼関係を形成するために必要な態度、マナーを理解します。また、訪問場面に適した方法で正しく血圧測定を行うことができるように何度も練習をします。療養者役、家族役を演じることで、初回訪問を受ける療養者と家族の気持ちについても理解します。また、昨今、地域では在宅で医療的ケアが必要な療養者の方が増えています。医療的ケアの中でも、学生が実習で関わることが多い在宅酸素療法、在宅人口呼吸器療法の管理については、在宅療養者の方へ医療機器を提供しているメーカーの方の協力を得ながら、在宅で実際に使用されている医療機器を学生が体験し、療養者とその家族へどのように指導すべきかを学習する演習も行っています。

社会情勢がめまぐるしく変化する中で、今後、学生が卒業して、病院、施設、行政、訪問看護ステーションなど、地域を支えるどの施設で働いたとしても、療養者とその家族の立場になって必要な看護を提供できるよう社会資源やケアシステムを学び続け、療養者とその家族を支えていける視点をもって働いてもらいたいと考えています。



初回訪問演習の様子

■ 理学療法概論（1学年） 小塚 直樹 教授

理学療法学科1年生が入学して初めて受講する専門科目です。この科目は18時間の座学と12時間の病院見学（グループワークと報告会を含む）の二部構成となっています。座学では理学療法の歴史、発展の経緯から現状までを概観した後、本学科理学療法士教員によるそれぞれの専門分野に関する講義が展開され、理学療法学の「幅の広さ、奥の深さ」を理解することができます。

座学の後、6月下旬より病院見学が始まります。附属病院リハビリテーション部の協力により行われる病院見学は、臨床力の養成を重要視する本学科の特徴的演習と言えるでしょう。およそ60分の間、理学療法士がマンツーマンで臨床指導を行います。初學者として、病院における患者さんとの距離感、医療者の動き、理学療法業務を体感することにより、理学療法士の活動を理解することになります。また患者さんを通して、障害及び障害者に対する理解を深めると共に、一人の人間としての尊厳を学び、医療者として具備されるべきいたわりの気持ちや畏敬の念を抱くことを体験することも目的としております。

10月に実施される臨床実習1への橋渡しとしての重要な位置付け、そしてその後に順次展開される臨床教育の起点に位置する科目であり、これから本学科で学んでいく理学療法学の礎となる科目です。



「理学療法概論」演習の様子

■ 作業療法臨床実践法（3学年） 太田 久晶 教授

作業療法学科では、H26年度より3年生を対象に作業療法臨床実践法の科目の中で客観的臨床能力試験（Objective Structured Clinical Examination, OSCE）を実施しております。OSCEとは、模擬患者に対して、医療面接や評価・治療介入を実施し、学生が何をどこまで実施できたのかを評価する実技試験であります。

この科目では2回のOSCEを実施しており、前期に実施するOSCEは、評価実習への準備状況を確認するためのものであり、後期のOSCEは、4年生からの総合臨床実習に向けた準備状況を確認するためのものとなっております。

また、本学科のOSCEの特徴として、試験実施の翌日以降に学生が5名前後のグループに分かれて各自の試験の様子をビデオで確認し、課題遂行についての振り返りを行います。OSCEでの実技試験とその後の振り返りを通して、学生自身ができていたことや、学習の必要なことを確認できることは、その後の臨床実習を円滑に進めることに生かされるものと考えております。



「作業療法臨床実践法」の講義風景

平成29年度 保健医療学部表彰

保健医療学部では、毎年度、本学部を卒業する学生と進級制限が設けられている2年生を対象に、学業成績および人物が優秀で他の範となる学生を最優秀者、優秀者として表彰する制度を設けています。
平成29年度は以下の学生が表彰されました。

卒業生表彰者

○ 最優秀賞

- ・看護学科 (朝比奈嫩葉賞) 成田 早織
- ・理学療法学科 (理学療法学賞) 出来 龍太
- ・作業療法学科 (作業療法学賞) 瀧上 来結

○ 優秀賞

- ・看護学科 下出 実穂
- ・理学療法学科 相馬 章吾
- ・作業療法学科 鈴木 沙季

2年生表彰者

○ 最優秀賞

- ・看護学科 北川 雪乃
- ・理学療法学科 佐藤 晃平
- ・作業療法学科 山本 詩織

○ 優秀賞

- ・看護学科 大内 麻由
- ・理学療法学科 柏 優花
- ・作業療法学科 村川 栞



2年生表彰者の受賞コメント

☆北川 雪乃 (看護学科・最優秀賞)

この度看護学科での最優秀賞をいただいたこと、驚きと同時にとても嬉しく思います。ありがとうございます。この2年間でわたしがこのように成長できたのは、共に勉強し、考えを共有し、時間を過ごした友人たち、そして先生方のおかげです。自分の目指したい道がわかってきた今、真摯に柔軟に、邁進したく思います。

☆大内 麻由 (看護学科・優秀賞)

今回の受賞は驚きとともに、自分の力だけではできなかつたと感じています。今まで課題やテスト、実習など大変なことが多くありましたが、家族や友人の支えがありここまで来ることができました。家族や友人、先生など支えてくださった方に感謝でいっぱいです。この感謝を忘れず残りの二年間も努力していきます。

☆佐藤 晃平 (理学療法学科・最優秀賞)

この度理学療法学科での最優秀賞を頂き、とても嬉しく思います。ありがとうございます。このような賞を頂いたのは、この二年間、切磋琢磨しながら勉強した友人たち、そして先生方のおかげです。今後も、日々成長できるよう、努力を怠らず過ごしていきたいと思ひます。

☆柏 優花 (理学療法学科・優秀賞)

この度は優秀賞をいただき大変嬉しく思います。これまでの2年間、私を支えてくださった周りの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。今後はより一層勉学に励んでいきたいと思ひます。よろしくお願い致します。

☆山本 詩織 (作業療法学科・最優秀賞)

この度は、学業成績での最優秀賞を頂くことができ大変嬉しく思います。記念品まで頂き、深く感謝しています。私がこのような賞を頂くことができ、喜びを感じることはできたのは、よき同期の仲間や先生に恵まれたおかげです。本当に心から感謝しています。この喜びを胸に感謝の気持ちを忘れず、これからも学業に励んでいきたいと思ひます。

☆村川 栞 (作業療法学科・優秀賞)

この度は優秀賞を頂きまして誠にありがとうございます。私自身このような素晴らしい賞を頂けるとは思っていませんでしたので、とても驚いています。こうした名誉ある賞を頂いたのは、これまで指導し支えて下さった先生方や周囲の皆さんのおかげです。今後もこの賞に恥じないよう、一層気を引き締めて頑張りたいと思ひます。



平成29年度卒業生の国家試験合格状況

- 看護師国家試験は49名が受験し、全員が合格しました。(合格率100%)
看護師国家試験15年連続合格率100%を達成しました！！
- 保健師国家試験は11名が受験し、10名が合格しました。(合格率90.9%)
- 理学療法士国家試験は17名が受験し、全員が合格しました。(合格率100%)
- 作業療法士国家試験は20名が受験し、19名が合格しました。(合格率95.0%)



※合格率 (全国平均)

- 看護師国家試験…91.0%
- 理学療法士国家試験…81.4%
- 保健師国家試験…81.4%
- 作業療法士国家試験…77.6%

